

# 「一人ひとりが輝く元気な学校 ふるさと 赤阪小学校」

「のびのび ～社会を生き抜く、確かな学力作り～」

「いきいき ～豊かな心、たくましい人づくり～」

「しっかり ～魅力ある教育環境づくり～」

千早赤阪村教育大綱(第2期)・令和5年度 千早赤阪村教育方針より

千早赤阪村立赤阪小学校  
第37代校長 蔦 亜紀朗(つた あきら)



「一人ひとりが輝く元気な学校 ふるさと 赤阪小学校」というのが本校のキャッチフレーズで、職員室や学校のあちらこちらにも掲示されています。

「一人ひとりが輝く」ために、本校のすべての子どもたちにとって学びやすい赤阪小学校であることを大切に、そしてわがふるさと千早赤阪村に愛着と誇りをもてる子どもたちであってほしいと願いながら、歴史あるこの赤阪小学校で3年間、教頭職を務めておりました。そしてこのたび校長職を拝命いたしました。

本校でのこれまでの経験を生かしながら、次ページのように今年度の教育目標を設定しました。3つの重点目標について、実現のために教職員とともに努力してまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



# 令和5(2023)年度 教育目標

千早赤阪村立赤阪小学校  
校長 薦 亜紀朗

本校のキャッチフレーズ

「一人ひとりが輝く元気な学校 ふるさと 赤阪小学校」

めざす子ども像

「強く」・「正しく」・「朗らかに」

元気な子 考える子 やさしい子 根気よく取り組む子 手伝う子 工夫して学ぶ子

令和5(2023)年度重点目標

## ① のびのび ～社会を生き抜く、確かな学力づくり～

『生活科・総合的な学習の時間全体計画見直しと連動したカリキュラム・マネジメント』

◇基礎的な知識・技能の獲得があってこそその思考・判断・表現、基礎・基本をこつこつ固める学習・生活の積み上げ。

◇児童のやりがい、児童の目的意識がある学習活動で、知識・技能を生かして思考・判断・表現する授業づくり。

◇生きて働く力を、有用感をもって生活に生かせる場づくり(行事や特別活動等)。

◇少人数、小規模のメリットを生かした教育活動を展開する、特色ある学校づくり。

『GIGA スクール構想は3年目の定着と新たな活用へ』

◇AIドリルソフト、学習情報共有システム(新)も活用しながら個別最適化された学び・双方向型学習・協働的な学びを充実させ、主体的・対話的で深い学びへとつなげる。

『「ともに学び、ともに育つ」支援教育の視点を踏まえた学校づくり』

◇すべての子どもが学びやすい赤阪小学校をめざす。

◇ユニバーサルデザイン【UD】に基づく「授業づくり」と「学校環境整備」「学校体制・組織づくり」。

◇支援教育における個別の自立活動の時間確保による支援の充実。

## ② いきいき ～豊かな心、たくましい人づくり～

『学校教育・学校生活全般で、自ら思考・判断・表現する児童の育成』

◇相手意識をもって考え、自分の言葉で発信できる学習、体験の場の充実。

『相手意識をもち、多様性を理解しながら社会の中で自分らしく生きるための力の育成』

◇日々の授業と学校行事・学校生活とを結びつけるカリキュラム・マネジメントの推進。

## ③ しっかり ～魅力ある教育環境づくり～

『子どもたちにとって安全・安心な学校づくりを進める教職員』

◇子どもたちのことをより丁寧に考え、より深く連携して対応できるよう、放課後の事務や打合せ時間の確保等、教職員が心の余裕をもって働けるゆとりづくり。例年通り行うのではなく思い切って変更や廃止も打ち出して働き方改革を進める。Charge for Change!

『「地域学校協働活動」の推進』

◇「子ども育みボランティア」の発展に努め、学校と地域が協働して、学校教育における課題に取り組む体制づくりを整え、地域の力を本校教育に生かす取り組みを進め、特色ある学校づくりを進める

◇郷土である大阪府唯一の村、千早赤阪村に愛着と誇りをもつ子どもたちを育むために、歴史学習、自然、名所、旧跡に親しむなど郷土にちなんだ学習を積極的に行う。